

平成20年度第2回関市公共交通活性化協議会 議事概要

開催日時	平成20年11月5日(水)10時00分
開催場所	関市役所6階大会議室
出席者	委員21名(別紙のとおり)
会議次第	<p>開会あいさつ</p> <p>議題 関市地域公共交通総合連携計画策定調査について 調査業務の進捗状況</p> <p>意見等</p> <p>P21 住民ニーズの把握について、量的に把握することは難しい、地域的や、質的なものとして分析することも必要</p> <p>P24 上位計画との関連では、平成17年の市町村合併における公共交通に関する協定項目を記載すること。</p> <p>P27 住民との協働に関して、地域への投げかけはどのようにしてきたか、運行主体となるような組織はあるか。 地域審議会や、地域で開催した懇談会で説明してきた。 運行主体は、まちづくりNPOとして検討 参考として、大まかなバスの再編成(路線の概要)について別紙資料で説明する。</p> <p>地域公共交通総合連携計画の基本方針</p> <p>意見等</p> <p>P30～(基本目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画の目標のなかに、公的支援についての市の姿勢を明確資する必要があるのではないか(宣言のようなもの)</li> <li>・公的支援と交通事業者の関係</li> <li>・効率・効果を何で評価するのか、評価の手法はどのようなもの 大筋はこれとして、組み立て方などを整理する。</li> </ul> <p>P32(路線等の方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市間交通と鉄道など、グルーピングを整理し直す。LRTなどの具体的名称は表記しない</li> </ul> <p>P33(目標像)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パーク&amp;ライドと乗継拠点(乗換バス停)は同じものではない。P&amp;Rは、駐車場用地などの整備が不可欠であるが、乗継拠点は、賑わいや人が寄り付きやすい場所。たとえば、道の駅やコンビニのようなものでもよい。</li> </ul>

	<p>交通拠点（バスターミナル）の選定作業 意見等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通拠点は、賑わいの拠点となるもの。</li> <li>・交通拠点だけではなく、どのような機能や施設を持たせるのか。</li> <li>・まちの賑やかさにどこまで貢献できるか。</li> <li>・交通拠点施設をターミナル機能だけとするのか、まちづくりのための施設とするのか。</li> </ul>
閉会	午前 11 時 40 分閉会

関市公共交通活性化協議会出席者

平成 20 年 11 月 5 日

	区 分	氏 名	所 属 及 び 職 名
1	学識経験者	竹内伝史	岐阜大学地域科学部教授
2		伊豆原浩二	名古屋産業大学環境情報ビジネス学部教授
3	公共交通研究者	福本雅之	名古屋大学大学院環境学研究科 都市環境学専攻 博士後期課程
4	事業者代表	川瀬正次 (栗本敏樹)	岐阜乗合自動車(株)専務取締役 (交通政策室部長)
5		山田善章 (欠席)	(株)ドライビングサービス業務部長
6		三輪雅之	関タクシー株式会社代表取締役社長
7		武藤好忠	長良川鉄道株式会社専務取締役
8	市民・利用者代表	山中一義	関市自治会連合会会長
9		森島力雄 (猿渡康子)	関市社会福祉協議会会長 (社会福祉協議会事務局長)
10		石井和典 (長屋博夫)	関市老人クラブ連合会会長 (副会長)
11		加藤隆志 (藤川逸美)	関商工会議所会頭 (専務理事)
12		桜井義高 (山下八起)	関市 P T A 連合会
13		今井正子	関市女性連絡協議会副会長
14	運輸局	中島 勉 (長瀬靖彦)	中部運輸局岐阜運輸支局長 (主席運輸企画専門官)
15	運転手組合代表	中島喜久夫 (栗下慶司)	岐阜乗合自動車労働組合 執行委員長 (執行委員)
16	岐阜県公共交通課	岡田芳和 (今瀬千秋)	岐阜県都市建築部公共交通課長 (課長補佐)
17	道路管理者	内田達也 (内田猛史)	岐阜国道工事事務所管理第一課長 (専門員)
18		安田寿之	美濃土木事務所道路維持課長
19	関警察署	吉實敏秋	関警察署交通課長
20	関 市	森 義次	関市副市長 (会長)
21		村井由和(欠)	関市市長公室長(幹事長)
22		太幡正樹	関市建設部長
	事務局	岡田 誠	関市市長公室企画政策課長
		加藤源一郎	関市市長公室企画政策課課長補佐
		篠田賢人	関市市長公室企画政策課主事

